

5月8日(日) (7時30分現在) 位置 16° -41.4' N / 176° -30.8' E

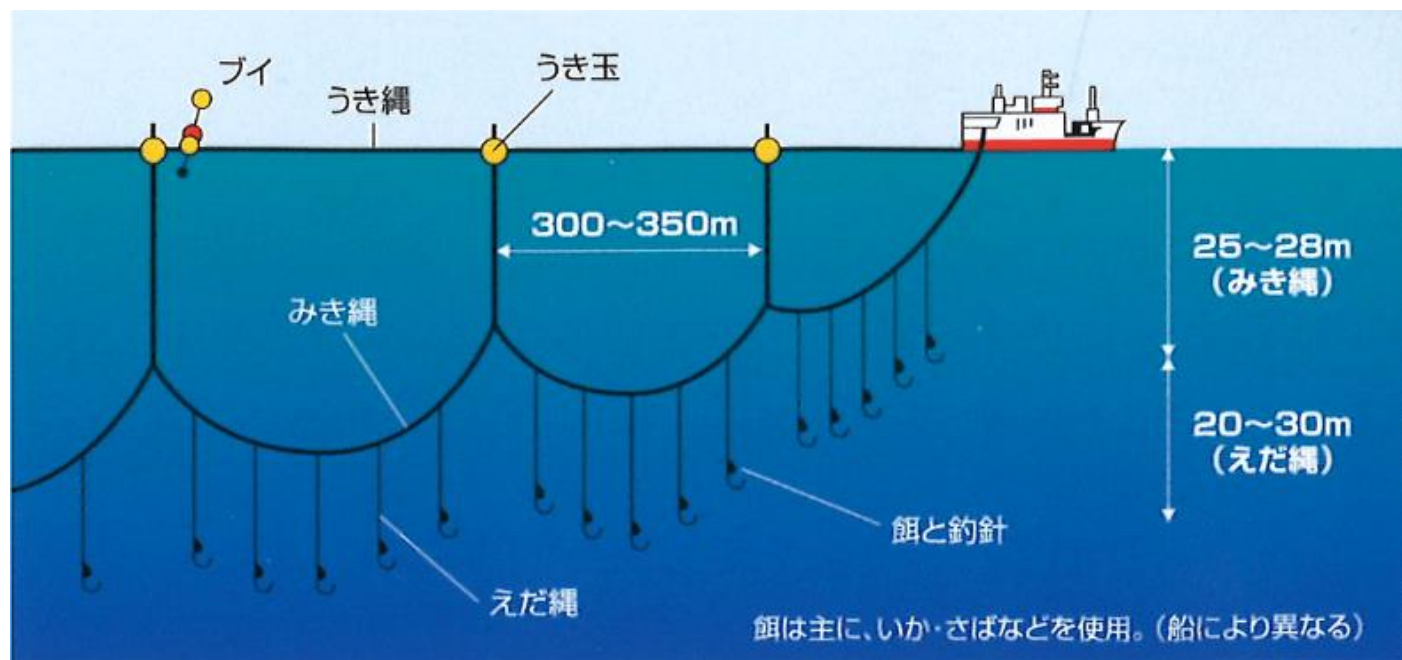
針路 Drift 天候 bc 風向 E 風力 4

波高(m) 1.5m 気温：27.9℃ 水温：27.3℃

船内の主な作業 R-4

本日も漁業実習を行い、漁獲量は50尾、約1.2トンと大漁となりました！釣り上げた魚は、船首部分の胴の間という場所で、処理（マグロ船ではサイカツと言っています）を行います。胴の間は次々と揚がるマグロやカジキで大賑わいだったそうです。作業がない生徒もコンパステッキ（船橋の上の場所）で見学することができます。自分たちで投縄を行い、魚が釣れるととても嬉しくなります。コンパステッキからは、マグロが泳ぎ暴れる様子も見るすることができます。晴れている日は、潮風を感じ真夏のような日差しを浴び、とても気持ちがよいです。

マグロ延縄漁業は、以下の図のような仕組みで魚を獲る漁業です。みき縄は、一本の長いロープで、湘南丸の場合は、全長は約80kmです。えだ縄（ブラン）は、1650本仕掛けます。釣針は、深い場所では水深が約150m～250mほどの深さまで到達します。うき玉は、漁具の重さで沈み、実際には水面から見ることはできません。このように、規模の大きな漁業の一つなので、投縄作業に約4時間、揚縄作業では7時間以上もかかります。使用する漁具も多いので、みんなで協力して作業を行う必要があります。



遠洋鮪延縄漁業とは

出典：「村田漁業 株式会社」 <https://www.kawajirushi.jp/haenawa/index.html>

<遠洋航海日記>

今日はコンパステッキで揚げ縄の見学をした。 T.Kより